

特別編

文様16選

今年も三月物、五月物の商戦が迫ってまいりました。この連載をお読みくださっている方の中には、店頭に立っている販売員の方も多くいらっしゃると思います。

今回は文様のテーマを絞らず、監修者・松井幸生さん（株式会社誉勘商店代表）に、節句人形の衣裳によく使われる文様を16種選んでいただき、解説をお願いしました。「見たことはあるけれど、名前までは知らない」という文様もあるかと思っていますので、ご理解の一助になれば幸いです。

その柄の意味、知っていますか？

文様を学ぶ

装束に欠かせない文様の知識。有職故実から生まれた有職文様の数は数え切れない。文様の魅力を深掘りする連載。特別編では案内人が人形の衣裳によく使う文様16選を紹介します。

解説

指貫(さしぬき)…
ゆったりとした作りとなっている袴。履きやすさを重視している。

直衣(のうし)…
天皇、皇太子、親王、および公家の平常服。普段着。

参考文献

八條忠基著『有職文様図鑑』（2020年、株式会社平凡社）

裂地画像提供

株式会社誉勘商店



監修者

文様の案内人 松井幸生さん



1962年京都府生まれ。株式会社誉勘商店社長で金襴織物・裂地の製造卸商を営む。1751年創業、誉田屋勤兵衛から数えて13代目。「にんぎょう日本」では連載「教えて先生！日本人形の衣裳にとことん迫る」の監修者として活躍。京人形商工業協同組合理事。平成12年伝統的工芸品産業審議会臨時委員任命。翌年、伝統的工芸品産業の経済産業大臣賞を受賞した。



女子の襲



袍の諸家通用文



皇太子の袍文



天皇だけが着用する禁色。黄櫨染御袍



男子の単。唐衣の襟



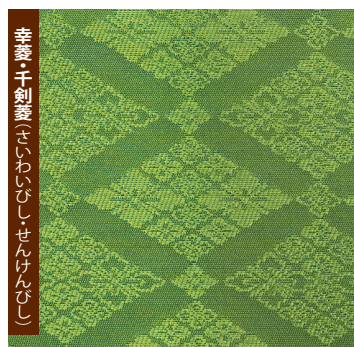
親王の指貫



絵巻物によく出てくる袍文



天皇が晴れの日に着用する表袴に使用



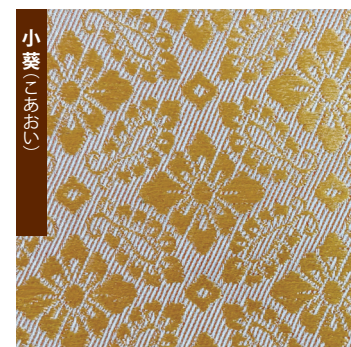
女子の単と襲



下襲、冬の直衣*。浮線綾とも言う



若年者の指貫*



公卿が着用する直衣。天皇の直衣は全体が白一色の生地で作られる



地文に多く用いられる



指貫



袍の諸家通用文



女性皇族の表着